

2024年度(令和6年度) 第2回 生産技術委員会 議事要旨

I.日 時 2024(R6)年 6月14日(金) 15:00~17:00

II.場 所 (一社)日本木造住宅産業協会 (6階会議室)オンライン(ZOOM)併用開催

III.出席者(敬称略、順不同、※印は ZOOM 出席)、アンダーラインは欠席者

(委員出席:21名+委任状9名+オブザーバー2名+事務局2名)

主 査:秋山 哲一(東洋大学名誉教授)、

委員長:秋本 正人(住友林業株)、副委員長:中藤 栄顕(ポラテック株)、

委員:※瀧澤哲也(住友林業株)、※谷口哲哉(株日本ハウスホールディングス)、楡井 洋(古河林業株)、濱田 龍二郎(株AQ Group)、※杉山 勝也(ポラテック株)、※嶋田 味穂(大和ハウス株)、馬場 久尋(住友林業株)、高橋 明久(タカノホーム株)、堀口 晃(ポラテック株)、※彦坂恵多(サウラ住宅株)、※久野 幹洋(ニチハ株)、遠藤 龍司(BXカネシン株)、澁谷 佑介(YKK AP株)、池田 昌彦(旭ファイバーグラス株)、落合 貴志(株小田急ハウジング)、※熊谷 淳一(住友林業ホームテック株)、小野 智行(株AQ Group)、※内山 岳彦(株エー・エス・ディ)、※貫戸 雄貴(株タナカ)、池田 啓輔(ミサワホーム株)、吉川 誠二(株ハウゼコ)、小寺 努(エスケー化研株)、鎌田 広道(株アールシーア)、※工藤 俊美(近藤建設株)、※折笠 定勝(株エー・エス・ディ)、佐々木 直史(株LIXIL)、清田 耕平(株エヌ・シー・エヌ)、氏居 亮平(新進建設株)、小川 泰史(株細田工務店)、原口 誠(住友林業株)、後上 知之(株カナイ)、小山 行史(株ユニバーサルホーム)、※市川 真(ナイス株)、今倉 秀樹(ジャパホームビルド株)、※高橋 英教((株)一条工務店)、北村 忠男(日本住環境株)、河合 宏(株ファイブイズホーム)、※市川 伸展(代野本寛(ヤマト住建株))、※大森 真司(ミサワホーム株)、オブザーバー: 武永 祐嗣(株プラネックス)、川内 一毅(株プラネックス)、逆瀬川 博(株住宅審査補償事業)、佐々木 徹(住宅保証機構株)、浜本 和明(福井コンピュータアーキテクト株)、小山 義幸・高畠 雅人(株アンドパッド)

事務局:鈴木 保宏、松澤ひろ美

【報告・議事事項】

1. 前回議事録の確認

(資料2)

・読み上げ省略。加筆修正意見なし。

2. 各WG進捗報告(建設副産物・安全衛生CS・リフォーム・生産管理・合否)

(資料2-1~6)

【建設副産物WG】

...(馬場リーダー)

・石綿関係のYouTube視聴回数は、アスベスト法改正が、222回で、1番多く視聴されている。現場での対応方法、手順を講義している回が伸びている。

木住協・建設副産物HPを見やすく改訂をし、Q&A部分もバージョンアップ予定。また、YouTube動画から、木住協HPへ誘導するしくみも検討・実施中。また、保育園の事故事例を紹介。

最近、行政の現場へ立ち入り検査がよく入っている。近隣からの通報(表示板有無、騒音からの行政立ち入り)も多くなっている。

また、石綿で集塵機能付OKとあるが、メーカーのマキタは、石綿には使わないでくれとの要望あり。(実質、使えない。)注意必要。

【安全衛生・CS WG】

…(瀧澤リーダー)

・安全CS WGの、YouTube視聴回数は、2月末～3月末に、それまでの倍ぐらいにハネ上がったが、4、5月も同じような傾向が続いている。6月視聴回数が落ちると、新人の安全教育教材として、動画の視聴という理由かもしれないので、引続き経緯を見ていきたい。「ヒューマンエラー」というキーワードのは、視聴が伸びている。

・安全週間(7/1～7/7)

・感電事例のほうは、後で説明がありますが、安全措置の実施において、「防護管」は単なる目印であり、「防護管」には接触しないよう指導と注意喚起ありました。

安全・CS WG メンバーにおいても、単なる目印という認識はなく、今後、「防護管」は触ってはいけないものとして、注意喚起・指導をしていく。

また、安全書式の見直しということで、まず「電動・エアーツールと脚立安全作業のポイント」の改定のための見直し作業に入りました。

住団連「労働災害速報版」情報の共有。

今までと違い、昨年は、曜日に関係なく、また 18 時以降の災害も起きていた。数字だけでは言えないが、労働環境の悪化の影響もあるかもしれない。

【リフォームWG】

…(池田リーダー代 鈴木)

・既存住宅講習が7月より始まり、今年度から対面講習でもビデオ化したものを使って講習を行う。

・リフォーム版の「施工チェックポイントマニュアル」は文章部分をまとめました。現在、写真を各社にお願いし(割り振り表作成)6月末までに集計。そこで改めて不足写真等、チェックし集計。

「屋根からの墜落災害」墜落だけではなく、リフォーム現場の特徴として、お客様が住んでいる所での作業という観点から、お客様対応への事例や情報の吸い上げをし、今後に展開していく。

(ホームテックさんから、お客様向けの案内を頂きました。)

【生産管理WG】

…(秋本委員長)

・ 施工管理チェックポイントマニュアル解説について、今まで YouTube 視聴を会員限定公開にしてありましたが、4/12 より、一般公開へ切り替えたところ、4 月 395 回、5 月 110 回と、それまでの月平均、12.1 回/月から大幅な伸びを示している。引き続き、6 月の視聴回数も見ていきたい。

・ CCUS 大工登録者 6.9%

「iphone のカードリーダー化」や「安価なカードリーダー」「カードリーダーのログイン機能追加」

「キャリアリンク CCUS かんたんスタートキャンペーン」4 つのツール提供を開始

利用拡大に向けた 3 か年計画(骨子案)を国交省資料として発表

・ 物流 2024 問題別紙

・ 木造大工及び、管理技術者(富士訓練教育カリキュラム)日程案決定

12/2～12/20 講習内容を充実させ、昨年より、+1 日の 16 日(18 泊 19 日)

修了資格として、玉掛け、足場の組立、墜落制止用器具(フルハーネス)、携帯用丸のこ盤を取得初めて受講される方のために、補助金の説明も必要。

・ 「木造住宅クレーム事例に学ぶ」は 10 年ほど前、販売されたが、現状、停滞しているので、他の WG 書籍販売時、HP での再周知等、検討する。

3. CCUS の現状について(2024.3.31)

2024.3.31 現在

技能者 140.4 万人

事業者 17.8 万社

職種別の技能者登録数割合 大工 6.9% とび職 119.1% 配管 54.2% 板金 47.2%

「iphone のカードリーダー化」や「安価なカードリーダー」「カードリーダーのログイン機能追加」

「キャリアリンク CCUS かんたんスタートキャンペーン」4 つのツール提供を開始

利用拡大に向けた 3 か年計画(骨子案)を国交省資料として発表

4. 「建築基準法に基づいた完了検査等のリモート化の運用指針」について (資料 4-1.2.3.4)

(秋山先生)

国交省建築指導課長→各都道府県 建築行政主務部長宛てのもので、

基準法上の中間検査と完了検査はこれまで対面での対応が前提の枠組みでしたが、「リモート検査」
として対応する場合の指針が示されました。

今回、主に完了検査の話になります。(リモートB)

(令和4年)

現場にいる人

リモートA 受験者側が、リモート (検査側 1人)

検査者+現場補助者

(検査をする人は、現場にいる)

検査補助の人→施工会社が選定した者

(今回)

現場にいる人

リモートB 検査する側が、リモート (検査側 2人)

現場担当者+検査補助者

(検査をする人は、現場にいない)

検査補助の人→検査側の立場

上記、リモートで検査する場合は、事前に協議が必要(検査機関、ハウスメーカー(受験者側))

組織間、担当者間で事前協議、完了検査時期等、相談、合意した上で、

完了リモート検査実施。

尚、検査補助者は、検査機関側が認めた者とするが、雇用までは明記してなく、

資格取得者を要求するものでもない。

(人手不足や繁忙期のためリモート検査の活用が期待されとしても)現場で不適合な問題があった
場合、適切に改善指示が共有されるなど、問題が起こらないように運用する必要がある。

今後、国としてはこの施策を進めていく。

(上記、詳細は資料参照お願いします。)

(佐々木委員)

瑕疵保険法人でも、大手民間検査確認機関でもリモート検査による実証実験が、始まっているが、

地方の住宅センター系など規模が大きいところは、瑕疵保険法人が、リモート検査の部分も

含め、何かできないか等、話が来ている。

5. 物流 2024 問題への対応

(秋本委員長)

国交省「物流 2024 年問題への対応」より

○ 具体的施策として

- (1) 商慣行の見直し(契約内容、価格、納期、多重下請け、トラック標準的運賃の設定)
- (2) 物流の効率化
(物流 GX、DX の促進、物流標準化の推進、軽トラック事業の適正運営
高速道路のトラック速度規制(80 km)の見直し)→事故増大等、懸念も
- (3) 荷主・消費者の行動変容(消費者の意識改革、再配達削減に向けた取組み
置き配、写真を撮って完了証明等)

○ 標準的運賃及び、標準運送約款の見直しのポイント

- (1) 運賃表改定 平均 8%の運賃引上げ等
- (2) 下請け手数料の設定等
- (3) 多様な運賃・料金設定等

○ トラック G メンによる調査

○ 2024 年度に向けた業界・分野別自主行動計画の作成状況

○ 軽トラックの事故が増えている。軽トラックに対する規制的措施

(詳細は資料参照お願いします)

2030 年度に向けた政府の中長期計画

2030 年度に見込まれる輸送力不足 34%を補うことを目標

※ 建築業界にも、影響を与えてくるので、対策が必要となってくる。

6.新築・既存・リフォーム支援策比較表について

(資料 6)

住団連より、上記「新築・既存・リフォーム支援策比較表」をいただきましたので、
各社、販売等に役立てていただければと思います

7. 「感電事故防止のお願い」確認

(資料7-1.2)

(秋本委員長)

・「中国電力管内において、2024.4.27 死亡事故発生について」

足場作業中に作業者が高圧充電部に接触し、感電死亡するという事故が発生しました。

「防護管」の有料化の影響もあるかもしれないが、その説明の中で

安全措置の実施において、「防護管」は単なる目印であり、「防護管」には

絶対接触しないよう指導と、注意喚起ありました。

最近、中国電力以外の電力会社でも、同様の啓発文が示されており、離隔距離も決まっているので
各社、指導をお願いします。

8. JAC特定技能受け入れに関する母国語による講習会実施について (資料8-1～4)
(資料参照をお願いします)

9. 職場における熱中症対策啓発資料について (資料9-1～5)
(資料参照をお願いします)

以上

【次回 令和6年度第3回生産技術委員会・WG】

- ・生産技術委員会 令和6年7月12日(金) 15:00～17:00(木住協 会議室)
- ・建設副産物WG 令和6年7月8日(月) 11:00～12:00(木住協 会議室)
- ・安全衛生CS WG 令和6年7月8日(月) 15:00～17:00(木住協 会議室)
- ・リフォームWG 令和6年7月11日(木) 10:30～12:00(木住協 会議室)
- ・生産管理WG 令和6年7月12日(金) 13:00～14:30(木住協 会議室)
- ・合否委員会(3月の講習合否等):令和6年7月下旬(メールによる)